

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
五島市	福江地区(翁頭集落)	令和3年3月5日	

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	882.40ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	577.06ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	157.10ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	105.16ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3.15ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	42.63ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地については、未整備農地は、狭い農地や圃場に入る道が狭いところが多く、また形も悪いため作業効率が悪い。</li> <li>・人材については、高齢化等で担い手不足のため今後、耕作放棄地が増えると予想される農地があり、改善が必要である。</li> <li>・ヒヨウ・カモ・カラス等の鳥類被害が拡大している。</li> </ul>
---

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

集落の農地利用は、中心経営体である認定農業者のほか、入作を希望する他地区の認定農業者や認定新規就農者、法人等の受入れ促進や基盤整備などの実施により耕作放棄地の解消に取り組む。
---

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p><b>【農地中間管理機構の活用方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業の効率化や貸借契約事務の簡素化を図るため、機構を活用した経営農地の集約化を目指す。</li> <li>・中心経営体が病気や怪我などの事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保安全管理や新たな受け手への付け替えを進めることが出来るよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。</li> </ul>
<p><b>【基盤整備への取組方針】</b></p> <p>農業の生産効率の向上や農地集積・集約化を図るため、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備を検討する。</p>
<p><b>【新規・特産化作物の導入方針】</b></p> <p>多品種少量生産型作物のほか、地域に合った収益性の高い園芸作物の生産に取り組む。</p>
<p><b>【鳥獣被害防止対策の取組方針】</b></p> <p>地域による目撃情報を積極的に情報共有し、防護柵等の設置や捕獲体制の構築等を検討する。</p>
<p><b>【災害対策への取組方針】</b></p> <p>水害などの被害防止のため、問題点・問題個所の情報共有や排水施設の整備などに取り組む。</p>